

令和 2 年度教育・保育事業実施状況

1 令和 2 年度の分析及び取組結果

教育・保育の対象児童数は減少しているものの、依然として保護者の保育ニーズは高く、令和 2 年度も、待機児童解消策として、受入れ体制の拡大のための認定こども園への移行や施設整備等による定員増を促進するとともに、地域間格差の是正や保育士確保対策等に取り組みました。また幼稚園等の預かり保育により、「保育の必要が認められるが幼児期の学校教育の利用を希望する園児」の受け皿になっています。これらの取組に加え、出生数が大幅に減少したことやコロナ禍における利用控え等の要因もあり、令和 3 年 4 月の待機児童数は、35 人になり、令和 2 年度 65 人だった待機児童数が 30 人減少しました。

(1) 幼稚園から認定こども園への移行（2 園）

【移行理由】 保護者の就労状況の変化等に対応するため。

【効果】 保育定員が 66 人分増加し、保育の受入れ体制の充実につながった。

	園名	区域	定員数（人）		
			1 号	2 号	3 号
1	おひさまくるめようちえん	中央部	45	24	12
2	大善寺幼稚園	中央西部	120	20	10
合 計			165	44	22

(2) 認定こども園における 2 号・3 号の定員増加

【増加理由】 保護者の就労状況の変化等により 1 号の園児が 2 号 3 号に変更することに対応するため。

【効果】 保育定員が 56 人分増加し、保育の受入れ体制の充実につながった。

	園名	区域	定員増分（人）	
			2 号	3 号
1	アイスクール幼稚園	中央部	4	26
2	翠 高良内幼稚園	中央南部	8	12
3	国分幼稚園	中央東部	6	—
合 計			18	38

(3) 幼稚園等の預かり保育

【内容】

幼稚園及び認定こども園が、「保育の必要が認められるが幼児期の学校教育（＝幼稚園）の利用を希望する園児」への対応として、預かり保育を行う。

【成果及び効果】

1,040 人／月程度の利用（R 3.3）があり保育の必要性がある園児の受け皿となった。

(4) 保育所における定員の減少

【理由】 入所希望数の減少によるもの

【対応】 ニュータウン保育園は施設場所の移転により、今後定員増の見込みあり。

園名	区域	定員減分（人）	
		2号	3号
三瀨保育園	南西部	31	11
ニュータウン保育園	中央南部	4	6
合 計		35	17

(5) 市の取組内容

事業名	実績（人）
① 受け入れ体制の充実	
送迎保育ステーション事業	20
3歳未満児保育所入所確保事業費補助	135
② 保育士確保対策	
国の制度を活用した保育士等の処遇改善	
保育士人材確保対策事業	29
潜在保育士就職支援給付金事業	1
保育士奨学金返済支援事業	5
保育士 UIJ ターン就職支援事業	1

2 課題

令和2年度から新たに「保育士奨学金返済支援事業」（保育士人材確保対策）、及び、「3歳未満児保育所入所確保事業費補助」（多様な保育の充実）を開始いたしました。

しかし、令和2年度も依然として3号認定（0～2歳）を中心とした供給不足が続いており、本プランの集計結果では3号認定のみが供給不足の状況です。

市は、令和3年度、地域型保育事業の一つである「小規模保育事業」の整備運営法人を公募選定し、令和4年4月1日からの開設を目指すこととしています。中央部に0から2歳児を対象にした（19人定員）小規模保育事業を開園することで、待機児童の解消につなげます。

これまでの対応策を引き続き行っていくとともに、小規模保育事業等、現状の問題点に対応した施策に取り組むことで待機児童対策に努めてまいります